



芝祐靖と 伶楽舎

～古譜の訳譜・復曲と古代復元楽器の演奏～

現代の雅楽界を切り拓いた多様で豊かな芝祐靖 (1935～2019) の世界から、
自らが率い創立40周年を迎えた伶楽舎による「古譜の訳譜・復曲と古代復元楽器の演奏」



© 伶楽舎

© 伶楽舎

演奏 伶楽舎 (音楽監督: 宮田まゆみ)

曲目 芝祐靖 (訳譜・復曲): 天平琵琶譜《^{ばんかそう}番假崇

新撰楽譜《^{そうろうこたつ}曹娘禪脱

〈角調調子〉〈序〉〈破〉〈禪脱〉〈颯踏〉※正倉院楽器と奈良時代の音階による復元

芝祐靖 (構成): 二管の龍笛のための《^{すざくもんりょうしん}朱雀門梁震》(盤涉調《^{まんじゅうらく}萬秋楽

芝祐靖 (訳譜・復曲): 遠楽大曲《^{とらでん}団乱旋一具

〈沓越調調子〉〈序一帖〉〈二帖〉〈入破〉〈颯踏〉〈急声〉※現在の唐楽様式の復元

主 催: 静岡音楽館AOI 指定管理者 (公財) 静岡市文化振興財団

特別協賛:  **せいしん**
静岡信用金庫

協 賛: **A アイワホールディングス**

studio
FORUM
HOUSE & SHOP DESIGN

 静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

2025

12/13 土

14:00 開演 (13:30 開場)

静岡音楽館 **AOI** ホール (8F)

指定席 ¥3,500 (静岡音楽館倶楽部会員 ¥3,150)

22歳以下
¥1,000

しばすけやす りいがくしゃ
芝祐靖 (1935～2019) が創設し、初代音楽監督を務めた雅楽演奏集団〈伶楽舎〉(1985～) は今年創立40周年を迎えています。芝祐靖は横笛の名手として知られ、新作雅楽の作曲、雅楽廃絶曲や正倉院復元楽器のための復曲、若手演奏家の指導、子どものための雅楽など、きわめて多方面に才能を発揮しました。

てんびょうびわふ ばんかそう
一曲目の、天平琵琶譜《番假崇》は、1935年頃に正倉院遺物の文書の裏から偶然に発見された、日本最古とされる(西暦747年頃)琵琶譜です。二曲目の新撰楽譜は、平安中期の優れた音楽家であった源博雅(918?～980) が村上天皇の勅命により康保3年(966年)に編纂したもので、《曹娘禪脱》を正倉院復元楽器により演奏します。三曲目の芝祐靖構成《朱雀門梁震》は、盤渉調大曲《萬秋楽》の旋律を抜き出し、二管の龍笛の掛け合いで芝自身が博雅三位へのオマージュとして演奏したものです。

えんがくたいきよく とらでん いちぐ
後半は、遠楽大曲《団乱旋一具》です。遠楽とは、古代、中世の文献には演奏例や楽譜があるが、江戸時代以降は演奏例がなく、「明治撰定譜」の撰には漏れた楽曲群をいいます。天王寺方楽人・岡昌倫(1659～1734) が書き記した「龍笛榘要録」により、芝祐靖があらたに楽器配置と拍子に変化をもたらした労作です。

伶楽舎創立40周年を締めくくる静岡音楽館AOI公演は多様で豊かな芝祐靖の業績から〈古譜の訳譜・復曲と古代復元楽器の演奏〉に焦点を当て、自らが率いた「伶楽舎」の演奏でお届けします。みなさまのお越しを心よりお待ちしております。

田村博巳(演出家、静岡音楽館AOI企画会議委員)



© 伶楽舎

芝祐靖 Sukeyasu SHIBA (1935～2019)

1935年、800年余り続く奈良系の伶人の家に生まれ、84年まで宮内庁楽師をつとめた後、龍笛演奏を中心としたソロ活動に入る。85年、伶楽舎を創立し音楽監督となる。古典雅楽の演奏では横笛の名手として知られ、現代雅楽、現代邦楽でも、演奏のみならず、作曲も多い。雅楽廃絶曲の復曲、および国立劇場の正倉院収蔵楽器復元に参加し、敦煌琵琶譜などの復興にも携わる。また皇室のためのオーケストラ曲も作曲するなど、多岐にわたる作品を残している。ソロ以外に、伶楽舎ほかのアンサンブルで海外公演も多数行う。その他、広く雅楽に親しんでもらえるよう、語り入りの子どものための雅楽作品を創作、自ら全国の小中学校などでの演奏活動に参加した。2003年より日本藝術院会員、2009年旭日中級章、2011年文化功労者、2017年文化勲章、他多数受賞。2019年7月永眠。



© 伶楽舎

伶楽舎(雅楽) REIGAKUSHA(Gagaku) 音楽監督：宮田まゆみ

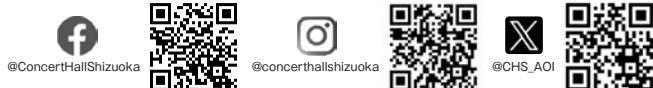
雅楽の合奏研究を目的に1985年に発足した雅楽演奏グループ。芝祐靖が創立し、長らく音楽監督をつとめた。現音楽監督・宮田まゆみ。発足以来、現行の雅楽古典曲以外に、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、国内外で幅広い活動を展開している。現代作曲家への委嘱作品等、年2回開催している定期公演で度々発表している。武満徹：《秋庭歌一具》について創立当初から演奏を続け、2002年2月中島健蔵音楽賞特別賞を受賞、同時に録音したCD「秋庭歌一具」(ソニークラシカル)は平成14年度芸術祭レコード部門優秀賞受賞。「伶楽舎第十三回雅楽演奏会～武満徹 秋庭歌一具」では勅使川原三郎と上演、第16回(2016年度)サントリー芸術財団の佐治敏三賞を受賞。また2021年には「秋庭歌一具」で金森穰・Noism0(ノイズムゼロ)との共演を行った。2020年第50回ENEOS音楽賞(邦楽部門)を受賞。一方で、解説を交えた親しみやすいコンサートを企画し、雅楽への理解と普及に努める。子どものための雅楽プログラムを推進し、子どものためのCD、DVDを製作、毎年子どものための雅楽コンサートを開催している。文化庁「文化芸術による子供育成総合事業」など、小中高の生徒を対象としたワークショップ、レクチャーコンサートなども数多く行っている。他に「芝祐靖の世界～ライブ配信で楽しむ代表作～」、「音のVR」で新日本フィルハーモニー交響楽団との共演(以上2020年)、「伶楽舎×森山開次 雅楽で舞う、雅楽で踊る」(2021年)、「宮廷芸能の饗宴～雅楽と琉球舞踊の邂逅～」(2022年)では琉球舞踊の宮城茂雄とコラボレーションが好評を博した。なお「伶楽舎」の名前は、古代中国の楽人の祖とされる「伶倫」に因んで、現行の雅楽のみならず、廃絶曲や新作の演奏など、従来の枠にとらわれない幅広い活動を目指して、芝祐靖によって付けられた会名である。

静岡音楽館AOIは開館30周年を迎えました

静岡音楽館倶楽部
会員募集中!! 詳しくはこちら→



静岡音楽館AOI公式SNS



@ConcertHallShizuoka

@concerthallshizuoka

@CHS_AOI

静岡音楽館AOI・インフォメーション(7F)

Tel.054-251-2200(月 休)

- * 受付時間9:00～21:30(休館日を除く)。発売初日のみ電話予約は13:00より。
- * お電話予約の際の座席の指定はご遠慮ください。
- * 各種クレジットカード、バーコード決済、電子マネー(一部除外あり)でお支払いいただけます。

チケットぴあ(Pコード：285-306) <https://t.pia.jp>

- * 全国のセブン-イレブン店頭マルチコピー機
- * チケットぴあでは、一般券のみお取り扱いします。

次のことを予めご了承の上、
チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

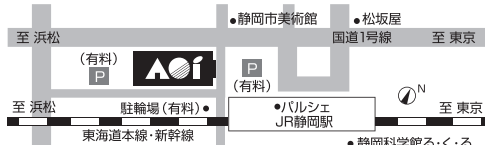
- ※価格は税込です。
- ※都合により内容を変更する場合があります。
- ※お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更はお受けできません。
- ※演奏中のご入場、および他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
- ※未就学児はご入場いただけません。
- ※託児サービスはございません。

開場時の諸注意

- ※8階ホールへのエレベーターの運行は、開場時間以降となります。
- ※開場時は1階エレベーター前でお待ちの方を優先してご案内いたします。
- ※地下からご来場のお客様も、一旦1階にて列にお並びください。

JR静岡駅北口を出てすぐ左

静岡中央郵便局合同建物内



*当館専用の駐車場・駐車場はありません。

東京・名古屋から新幹線ひかり号で約1時間!



CONCERT HALL SHIZUOKA

静岡音楽館 AOI

開館 9:00～21:30 月曜日休館(ただし祝日開館、翌平日休館)
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

TEL

054-251-2200

静岡音楽館AOI

検索



一般発売 6月14日[土]より

会員先行発売 6月7日[土]より